

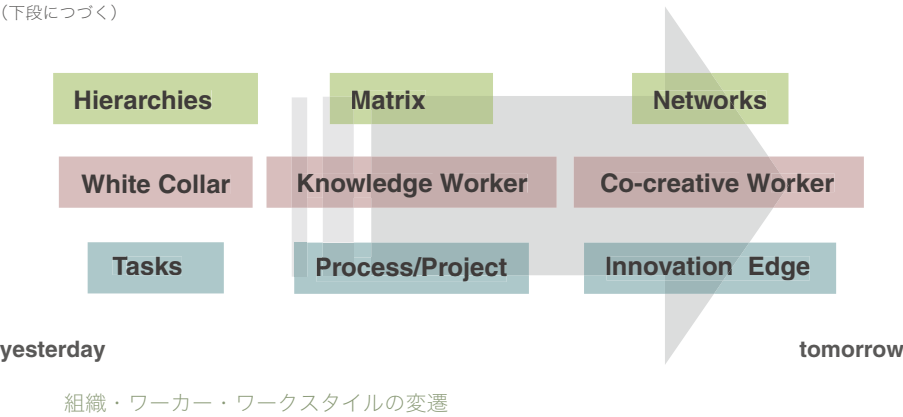


CONTENTS

OFFICE TREND	2
OFFICE LIGHTING	4
Sedus	6
Walter Knoll	8
INTERNATIONAL PROJECTS	10
某社本社	24
株式会社 博報堂	28
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	32
Sony Corporation	34
Sony Pictures Entertainment (Japan) Inc.	35
株式会社 EMI ミュージック・ジャパン	36
THOMSON REUTERS	38
インクス茅野零工場	40
アルペン丸の内タワー	44
株式会社ティー・ピー・エス	46
フジテック Big Wing	48
チョープロ本社	50
長寿の里	51
デロイトトーマツコンサルティング株式会社	52
大洋薬品工業新本社	53
OFFICE LIGHTING & FURNITURE	54

変わるワークスタイル、変わるオフィス

社会情勢の変化、事務作業の場から知的生産の場へ
アルビン・トフラーが「第三の波」で言うIT
革命以降、我々の仕事の内容は大きく変化し
ました。IT 革命以前の工業化社会では、オフ
イスは工場で生み出される価値を守り、生産
活動を管理する事務作業の場としてとらえら
れていました。この工業化社会からIT 時代へ
の変化が、経営スタイル、組織の在り方、そ
れに伴うワークスタイルを大きく変え、オフ
イスの在り方をも変えました。従来の事務処
理から経営価値を生み出す知的生産の場に変
化しました。
そして、現在、オフィスは、グローバル競争
(下段につづく)



に勝ち抜く為の経営価値を創造する場として
捉えられています。

経営価値を創造するオフィスは経営資源の一部
オフィスは企業のビジョン・経営戦略を表すも
のであり、ブランドの一部であると認識され
てきています。顧客や企業を訪れる人には、
マーケティング的な要素を持ち、企業イメー
ジ、企業文化や業績、信頼と安心と期待を伝
えるものです。従業員や経営者に対しては、
快適に働く場である事はもちろん、優秀な人
材獲得、組織力を強化する忠誠心やモラル
等の意識統一を図り組織価値を具現化する場
でもあります。オフィスは企業にかかわる人
たち全てに、ブランドとして存在し、ひとつ
の重要な経営資源です。

グローバル企業にとってオフィスはコストで
はなく投資
グローバル競争に勝ち抜くグローバル企業の
オフィスは各社の持つミッション・ビジョンを
明快に伝えています。それは経営戦略の方向
性が明確で経営者のビジョンが見てとれる企
業です。独自の企業文化を持ち、オフィスに
対する取り組みも積極的です。これからのコ

アビジネスを支える知的生産の場としてのオ
フィスづくりをコストではなく、長期的戦略
的な投資として考えています。

重視されるナレッジワーク「知」の創出
経営資源のひとつであり、企業がグローバル
競争に勝ち抜くための知的生産の場となった
オフィスは、組織の情報を共有し、加工し、
知恵を生み出し続けなければなりません。ナ
レッジワークは野中郁次郎の SECI モデルにみ
られるように、暗黙知と形式知のスパイラル
プロセスからイノベーション・エッジを生みだ
す事です。個人が経験や思考から得、内面化

された暗黙知を言語化したり、図式化するこ
とで形式知として表出化します。その形式知
を組み合わせたりすることでさらに新しい形
式知を作り出します。その形式知を経験する
ことで暗黙知として自分のものにしていきま
す。「知」の創出が求めるオフィスにおいて重
要なことは、ワーカー同士の face to face で
の交流。いつ、どこで、どのような仕事をす
るかをコントロールする自主性。そして、価
値を共有する為の「人の動き」、「仕事の状況」
が可視化出来る空間であることです。

ナレッジワーカーには、コミュニケーション
の「場」が必要
知的作業は優秀な個人が、ひとり、孤立して
作業していると考えられていますが、創造的
作業は他の人々とのつながりから生まれるも
のです。他人の存在・行動・言動・アイデア
に触発されて、新しい知恵が生み出されます。
オフィスでは、組織として知識創造を行うプ
ロセスのなかでフォーマルなもの、インフォ
ーマルなもの、あらゆるコミュニケーション
行為が行われます。この対面的なコミュニケ
ーションの場を通じて、言語化が困難な経験
やプロセスを共有するのです。オフィスはそ

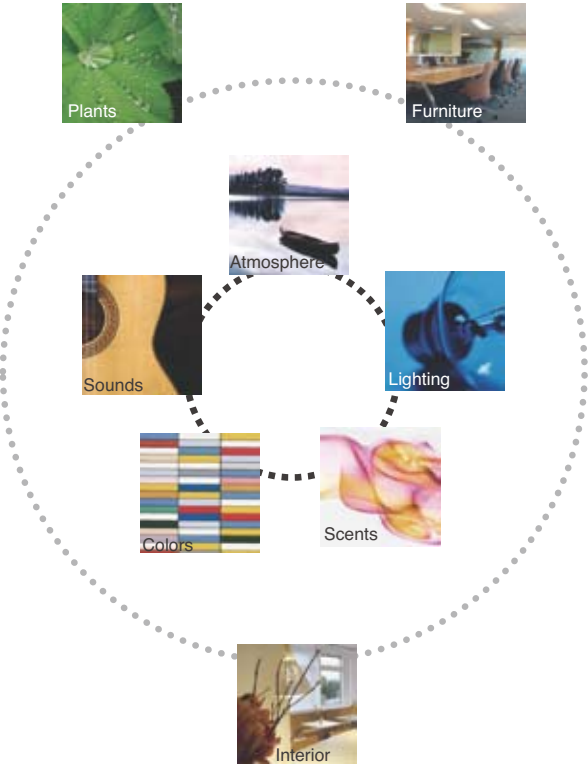


写真提供：Sedus

の効果を最大限に高める為のコミュニケーシ
ョンの場です。

コミュニケーションデザイン
ナレッジワークのためにコミュニケーション
の場をデザインする。これは、単なる家具の
レイアウトではありません。どのような場で
有効で偶発的なコミュニケーション（セレン
ディビティー）がおこるのか？どの場で快適
に意見交換ができるのか？ツールとしての情
報環境、組織や働き方といったワークスタ
イルはもちろんのこと、その場で働く人々の関
係性や仕組みまでもデザインすることになり
ます。コミュニケーションの場を作ることは
コミュニケーションをデザインすることであり、
コミュニケーションの主体である人の五感に
与えるエレメントをデザインすることです。

五感を満足させるエレメントがオフィスの質
を決める
知的生産の場・コミュニケーションの場とし
ての質の高さを感じるオフィスは、物理的な
家具・内装材の色・マテリアル・植物・アート・
眺望だけではなく、感覚的な光・音・空気におい
手触り感の五感を満足させ刺激を与える空間
でなければなりません。これらの五感を刺激
するエレメントは複雑に関係し、どれかひと
つが欠けても、不満になりストレスの原因と
なり、知的生産性を低下させ、有益なコミュ
ニケーションが行なわれなくなります。



Place 2.5 working is child's play
sedus

働く場は遊び場
ジェネレーション X^{*1} の出現により、働く場は
楽しいこと、ワクワクすることをするステージ
となりつつあります。彼らは子供の遊びのよう
に仕事に取り組みます。子供達は目的を見つ
け、目的に向かって知をしばり、戦略をたて集
中して目的を達成する為に戦術を実行して行
きます。それが失敗に終わっても、そこから得
た知恵を基に、新しい戦略を組み直し、挑戦し
ます。そして、目標を達成した喜びが次ぎの目
標を見つけ出すモチベーションになり、多くの
学びが彼らを育て、次から次へと遊びのアイ
デアを見つけて行きます。遊び場はまさしく子
供達の五感を刺激し、「知」を育てる場です。
このような遊び場の要素がオフィスにも必要
です。



Place 2.5
社会学者は、「我々は、三つの場で生活をして
いる」と言います。
— the first place 第一の場は家庭です
— the second place 第二の場は実質的な
働く環境です
— the third place 第三の場は遊びの場・
街です

五感を刺激するエモーショナルな空間である
the third place が持つ遊びの場・街・都市の要
素が、the second place オフィス環境に必要
です。
街・都市には、商品が色とりどりに並べられ
た店舗、刺激をくれるショーウィンドー、知
識欲を満足させるライブラリー、飽きさせず
に楽しませるアミューズメント、楽しい会話
が弾むカフェ、があり、足を運ぶたびに新し
い発見があります。知識創造の場であるオフ
イスには街・都市のような心地よい刺激が必
要です。その心地良い刺激が「知」を刺激し、
組織の生産力を高め、企業にイノベーション
をもたらすのです。



* 1 ジェネレーション X (アメリカ合衆国において) おおむね 1959 年から 1980 年の間に生まれた世代のこと。ダグラス・クーブランド著「ジェネレーション X—加速された文化のための物語たち」(原題「Generation X: Tales for an Accelerated Culture」) に由来する。出典：フリー百科辞典 Wikipedia

OFFICE LIGHTING

ワークプレイスは人が主役の空間 多様性に合わせて視覚心理を主眼に

知的生産の場には「リラックス」と「集中」が必要
人生の大半を知的作業に費やす場は、ワーカ
ーひとりひとりにとって最適な環境でなけれ
ばなりません。最適な環境とは人それぞれ、
時間により、仕事の内容により異なってきま
す。個人が自主的にその環境をコントロール
できるのが望ましいのですが、限界がありま
す。最近、多くの企業では、執務スペースや
従来型の会議室を減らし、社内にカフェやラ
ウンジのようなホスピタリティーを感じさせ
るコミュニケーションスペースを増やしてい
ます。これらのスペースではテーブルを囲ん
でリラックスして会話する姿だけではなく、
ひとり仕事に集中する姿をもみかけます。
このように知的作業に必要な「集中」と「リ
ラックス」の場をオフィスの中で選べとれる
ことが重要です。一見それらを満たしている
ようにみえる日本の伝統的な島型対向レイ
アウトでは、知的作業に集中することも、リ
ラックスして思考をめぐらすこともできません。
インフォーマルなコミュニケーションもコ
ラボレーションもサポートしていません。グ
ローバルな競争に生き抜く為に知的生産性を
向上させる、快適なオフィスには「集中」と
「リラックス」を両立させる事が不可欠です。



写真提供：Sedus

「人」と「場」をふまえて光を考える
上図のように、多様化するオフィス空間では、
そこで行われる執務関連の行動において、旧
来の島型対向式の固定化された場の発想では
なく、IT化、知的生産行為を行う場として経営
者を含めたワーカースの生産性を高めるとい
う視点で、下記のような多様な行動があります。
・イメージング（資料検索・ブレンストー
ミング・ラフスケッチなど）
・タスク/ワーク（コンピュータ作業・書類作
業・書類読み込み）
・コミュニケーション（社内/外の会議・打
合わせ・接客など）
・リフレッシュ（ティーブレイク・食事・
洗面など）

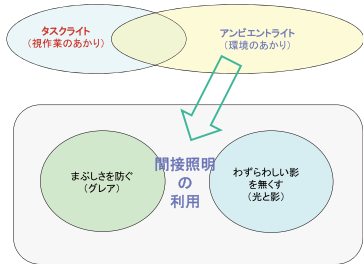
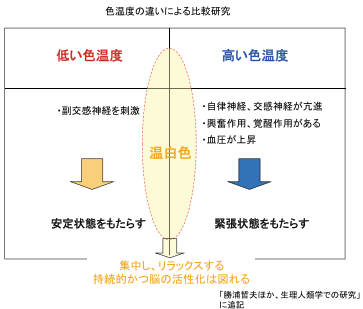
相互に連携した場づくりが今後、望まれる
オフィスデザインとなります。
このような多様化に対応するには、高照度
のベースライティングだけで対応するにはあ
まりに乱暴で、知的労働者はストレスをた
めがちです。そこで典型的な照明手法であるタ
スク

ク&アンビエント（作業の光と周囲環境の光
の合算）を今一度再構築してみようと思いま
す。以前から環境照明としての照明手法とし
て間接照明が理想とされてきましたが、過去
は光源の性能不足からあまり照度が期待でき
ませんでした。しかし近年の光源は省エネか
つ高効率な細型蛍光灯（TL5）が普及し始
まり、明るいアンビエント照明が得られるよ
うになりました。

わずらわしい影の排除とグレア（まぶしさ）の排除
照明をデザイン・計画する上で、視環境の整
備が第一義で、ワーカーに視作業のストレス
を与えずに快適であること、そして視覚心理
を考慮して空間に対して作業しやすい性格付
けをすることが大切です。これはコンピュー
タの出現により、デスク・書類に向かって下
向きになっていた姿勢から、視線が水平方向
になってオフィスを見渡す視界に変わってき
たことにより、
・明るさ～空間全体の明るさと作業する場の
明るさとのバランス
・輝度比・差～作業画面の輝度と視界に入る
周囲環境の輝度バランス
において、できるだけ差を少なくし、室内の
鉛直面の明るさ・輝度をも考慮に入れなくて
はなりません。また、オフィスを多様に使い
こなすため、フレキシブルなコーナーレイ
アウトに対応、視作業に苦を感じさせないよ
うに、わずらわしい影とグレア（まぶしさ）の
排除を具現化するため、間接照明の利用がお

勧めです。特に天井面にアップライトしての
間接照明は壁・床・天井に輝度バランスのと
れたよりよい照明空間を作り出します。

明るさ重視の前に視覚心理を
さらに、図にあるように光そのものの色味（色
温度）は、眼を通して脳に視覚伝達された情
報がおおむね相反する心理効果を生み出しま
す。知的生産性の向上が求められるオフィス
は、集中とリラックスの相反する性能を兼ね
備えた空間機能が必要となり、上記の心理作
用を利用し、図にあるように中庸の位置にあ
ります。光源色の温白色を基準色温度とする
照明デザインが近年多くなってきています。
アンビエントを温白色として、オフィスのコ
ーナーごとにその性格づけのため、タスクラ
イトで電球色、あるいは、アクセントライト
として昼白色を配置するなど工夫すること
により、色温度計画が照度計画に拮抗するよ
うになってきました。



STIMULI FOR THE SENSES 五感に刺激を

イノベーションを育み、枠にとらわれないクリエイティブな思考を啓発するにはどうしたらよい
か？多くの企業がいま模索を続けています。
ドイツのセダス社は、個人の能力を最大限に引き出し、そこから生み出される知をイノベーシ
ョンに導くには、ワーカーを奮い立たせ、刺激するワークカルチャーを創造することが必要だと考
えています。インフォーマルに会話をすることや自然発生的に起こるコミュニケーションが、人、
知識、情報、アイデアを有機的に繋ぎ、そこに革新的なひらめきを生むものだとも考えています。
セダス社の考える Place2.5 は、遊びの場・街に点在する場が私達を豊かに、快適にするように、
オフィスに様々な場を仕掛け、人々の五感を刺激し、ワーカーの活動をあらゆる角度から支援す
るオフィスです。



ひらめきを生むプロジェクトルーム
人々がストレスを開放し、感情をコントロール出
来るように家庭のリビングルームのような場を作
りました。くつろいだ中でインフォーマルなコミ
ュニケーションが生まれ、アイデアを出し合い、
ひらめきを生みます。通りがかった人も参加で
きるように内と外の適度な関係をもたせたセミオ
ープンな空間です。ベースライトを調光対応とし
ています。



インフォーマルコミュニケーション
だれもが使用するメイルーム・コビールーム。
最も偶発的に会話が起こるセミオープンな場です。
拡散型の光でブース全体を包みます。



カフェ
お茶をしながらリラックスして情報交換がおこなえ
ます。ひとりで集中して考えをまとめ上げること
もできます。電球色の光で落ち着きをもたせて
ます。

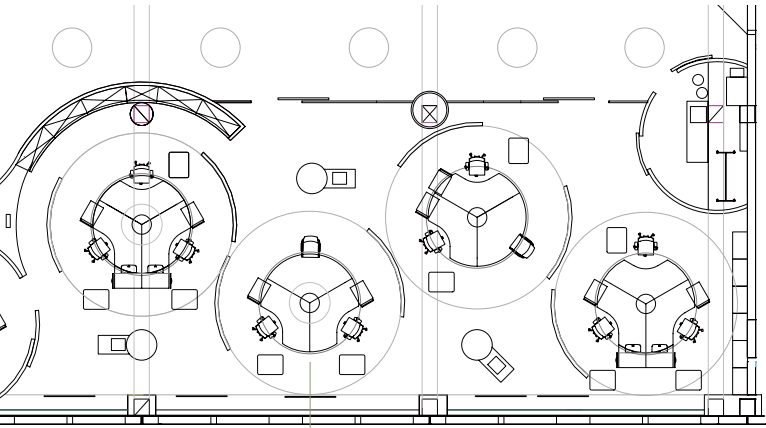
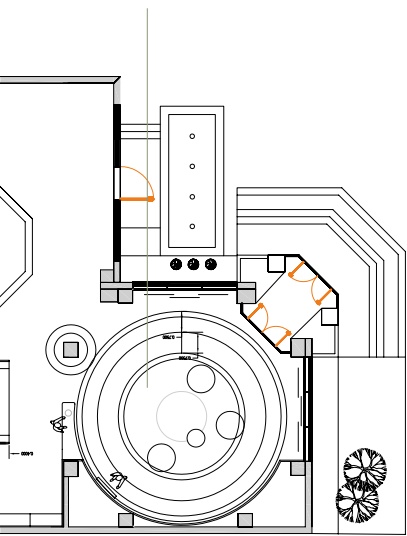


チームベンチ
チームの様々な働き方にすばやく対応。タスク
ワーク、チームワーク、コラボレーションに対
応できるフレキシブルな仕つえがビジネスの
スピードを上げます。ダウンライトとFLペン
ダントで作業のパターンにより調光点灯して
います。

ウェルカムゾーン
企業の顔として、ゲストを迎え入れる場です。
中央にアップアンドダウンの光で象徴的に見える
空間としました。



オフィスボックス
ひとり集中してアイデアをまとめる空間です。
棚下タスクライトで集中した作業環境をつくっています。



タスクワーク&チームワーク
タスクに集中。カスタマーズセンターとしてチ
ームワークも意識できるプランニング。拡散
型の光で手もとに影を少なくしています。



製品への自信と誇りをデザインしたオフィス

ウォルター・ノルは、一世紀以上前に建てられたテキスタイル工場をリノベーションした古いファクトリーに併設して、オフィス、ショールーム、そして革の縫製・家具の組み立て工場を新設しました。古いレンガ作りのファクトリーと新しいガラスのオフィスの融合。地域に溶け込み、ヘレンベルグ駅の正面に位置する新社屋は地域のランドマークとして機能を果たしています。透明性のあるこのガラスの箱は環境や省エネルギーへの配慮はもちろん、ワーカー全てに健康で快適なワークプレイスを実現しています。外部から視認性の高い1階、2階部分に、あえて家具の組み立て・革の縫製エリアを設ける事で、製品の品質に自信と誇りを持つ企業文化を、この建築に体现しています。



時間の流れを感じるタ方のオフィス。



オフィスで働くワーカーを地域にプレゼンテーションする。



ガラスとコンクリートの新しいオフィスと古いレンガ造りのファクトリー。

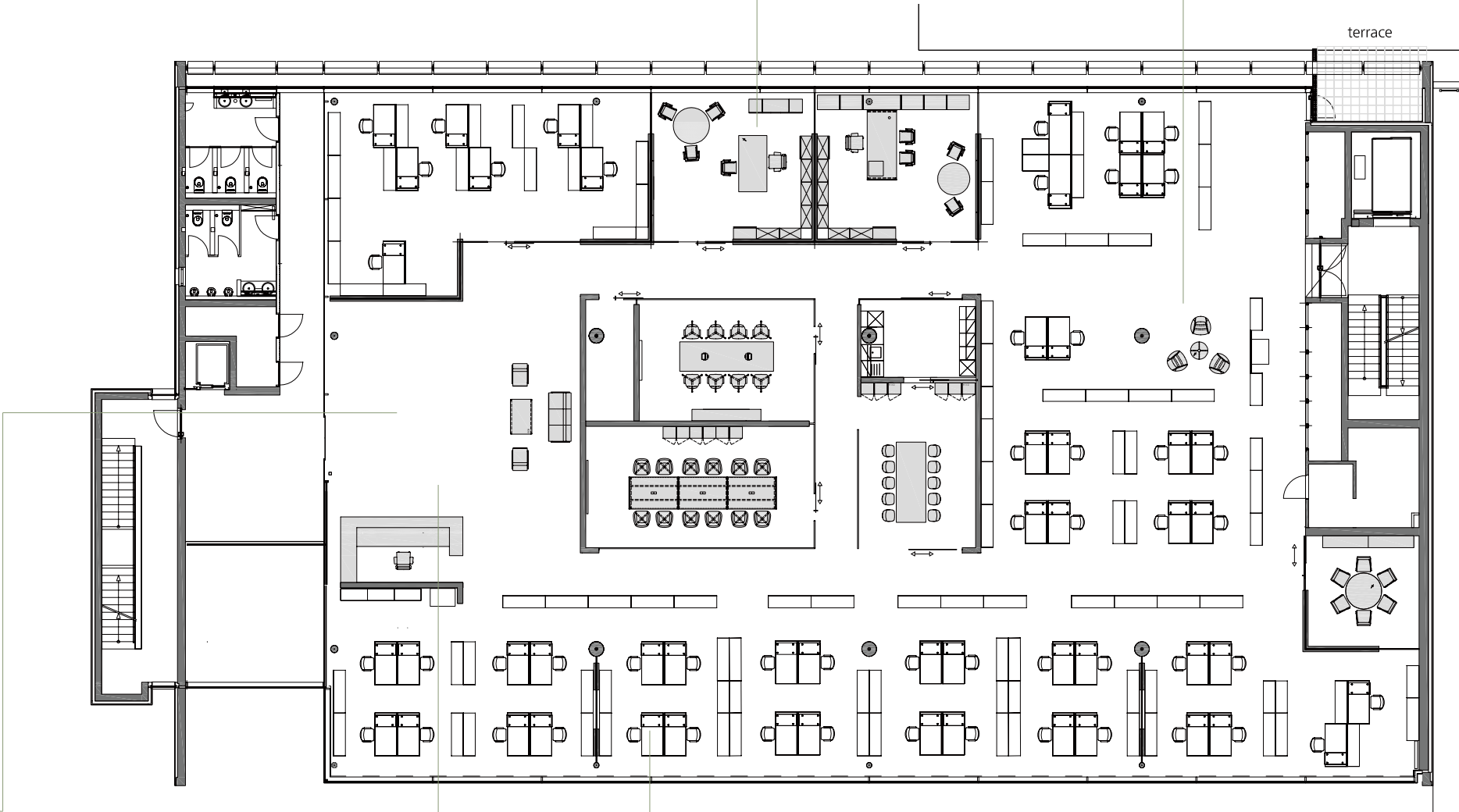


各階共通エリア（ビル中央にライン照明）
シンプルな各階共通の天井ライン照明。これをベースとし各階のワークスタイルに合わせアンビエントライト、タスクライト、デコレーションライトが付加されています。



昼間は自然採光とビル中央のライン照明でアンビエントライトを確保。積極的な省エネを図っています。

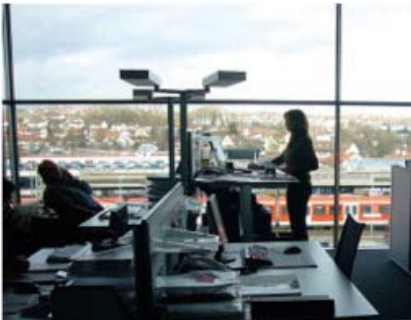
フロアーランプ型タスク&アンビエントライトが設置され、外光とのバランスで個人が調光コントロールします。



レセプションエリア
ライン照明に加え、場に応じてスポット照明で対応。来社の方々へは壁面への光が、フォーカルポイントをつくります。



執務エリア
外光の入る窓側に執務エリアを配置。外部の街・自然とその変化を感じる空間が、創造性を刺激します。デスクには、アップアンドダウンライトのフロアーランプを設置しています。



BMW Factory
Leipzig, Germany

Project : BMW Factory
Location : Leipzig, Germany
Architecture : Zaha Hadid, London
Photos : Roland Halbe



Lufthansa Aviation Center
Frankfurt a. Main,
Germany



Project : Lufthansa Aviation Center
Location : Frankfurt a. Main, Germany
Architecture : Ingenhoven Architects, Düsseldorf
Photos : © Lufthansa/Ingrid Friedl



TriGranit

Budapest, Hungary

Project : TriGranit
 Location : Budapest, Hungary
 Architecture : Emiel Lamers Architectures, Rotterdam
 Photos : © Sedus



Gira

Radevormwald, Germany

Project : Gira
 Location : Radevormwald, Germany
 Architecture : Ingenhoven Architects, Düsseldorf
 Photos : © Gira



Mercedes-Benz Museum
Stuttgart, Germany



Project : Mercedes-Benz Museum
Location : Stuttgart, Germany
Architecture : UN Studio/Ben van Berkel, Amsterdam
Photos : Hans-Georg Esch, Hennef/Sieg



A1 Lounge
Vienna, Austria

Project : A1 Lounge
Location : Vienna, Austria
Design : EOOS, Vienna
Photos : Hans-Georg Esch, Hennef/Sieg



Kühne + Nagel
Hamburg, Germany



Project : Kühne + Nagel
Location : Hamburg, Germany
Architecture : Jan Strömer Partner, Hamburg
Photos : Hans-Georg Esch, Hennef/Sieg



The Don-Stroy Group of
Companies
Moscow, Russia

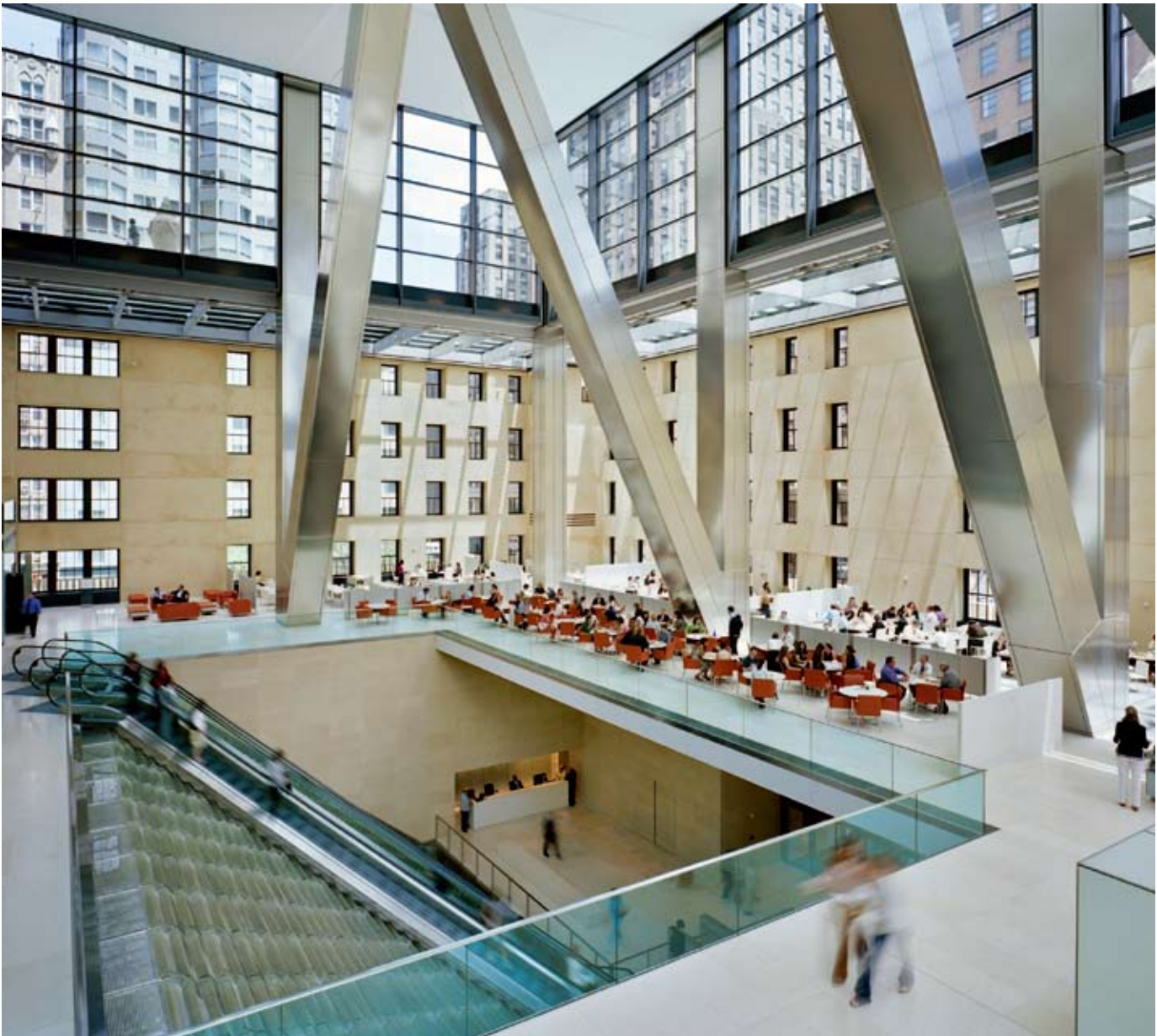


Project : The Don-Stroy Group of Companies
Location : Moscow, Russia
Architecture : Nikolay Milovidor, UNK project, Moscow
Photos : Hans-Georg Esch, Hennef/Sieg



Hearst Tower
New York, USA

Project : Hearst Tower, New York
Location : New York, USA
Architecture : Foster + Partners, London
Adamson Associates, New York
Photos : Chuck Choi, New York; M2L, London



PROJECTS

某社本社

某社本社
所在地：東京都
主要用途：オフィス
内装設計：株式会社日建スペースデザイン
株式会社イリア
株式会社乃村工藝社
竣 工：2007年12月

18階 スカイロビー
3灯組角形ダウンライト iGuzzini Minimal D9009B
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W×3
2灯組角形ダウンライト iGuzzini Minimal D9008B
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W×2

壁側ダウンライト iGuzzini Pixel Plus D9108W
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W×1
アッパーライト iGuzzini Linealuce J9002S
光源：G5 蛍光ランプ TL5 28W×1

照明計画協力：ヤマギワ東京PDC 遠藤 充彦 / 佐々木 泰和



18階スカイロビー

某社本社

都内大型新築オフィスビルに移転した会社の店舗兼、オフィス。下層階の店舗では、ハロゲンランプをメインとしたホテルロビーのような高級感のある接客スペースを計画し、上層階の応接・会議室等は用途にあわせて光天井や間接照明により、面的な明るさ感とテーブル面に最適な照度を確保しています。建築の約 20 層を占める全体エリアでは、執務環境とビル外観の見え方を考慮し、全体光原色を温白色（3500K）に揃えています。



18階ホール



18階ホール



25階ミーティングルーム2



24階ブレイクエリア

25階ミーティングルーム2
3灯組角形ダウンライト iGuzzini Minimal D9009B
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50Wx3

24階ブレイクエリア
特注照明
光源：白色LEDテープライト

25階ロビーレセプション
2灯組角形ダウンライト iGuzzini Minimal D9008B
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50Wx2
アジャスタブルダウンライト GEMOLLO D5124N
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50Wx1



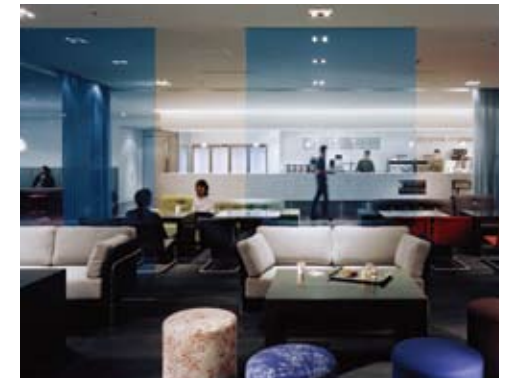
25階 ロビーレセプション

株式会社 博報堂

株式会社 博報堂
 所在地：東京都港区赤坂
 主要用途：オフィス
 内装設計：Gensler
 竣工：2008年5月
 照明計画：ヤマギワ東京 PDC 遠藤 充彦
 器具設計：ヤマギワ東京 TEC 吉田 征二郎



レセプション



ラウンジ

レセプション
 アジャスタブルダウンライト iGuzzini Pixel Plus
 D9108W
 光源：GU5.3 φ 50 ダイクロミックミラーランプ 12V50W × 1
 アジャスタブルダウンライト iGuzzini Frame
 D9034W
 光源：GU5.3 φ 50 ダイクロミックミラーランプ 12V50W × 2
 アームチェア MOROSO STEEL



レセプション



ラウンジ

日本を代表する広告会社、博報堂は2008年5月に本社を赤坂Bizタワーに移転した。オフィスの基本機能に加え、クライアントやコラボレーター、社員との交流を重視した空間づくりを目指し、レセプション、ラウンジ、応接室で使われる家具や照明は、より円滑にコミュニケーションが促進されるようセレクトされました。また、ライブラリー、会議・研修スペースは知的創造ビジネスにふさわしい機能的な照明計画がなされています。

レセプション
アームチェア MOROSO STEEL

ラウンジ
フロアランプ LUCEPLAN COSTANZA
S2496S+Z-708W
光源：E26 普通ランプシリカ 100W × 1

応接室
アジャスタブルダウンライト iGuzzini Frame
D9034W
光源：GU5.3 φ 50 ダイクロミックミラーランプ 12V50W × 2
フロアランプ FLOS SPUN LIGHT
S2964
光源：E26 普通ランプシリカ 200W × 1
ソファ WALTER KNOLL ELTON

研修スペース（写真右）
ペンダント louis poulsen PH Louvre
P-034
光源：E39 耐震電球クリア 300W × 1

ライブラリー（写真下中）
ペンダント TK-LINE PENDANT
P2812S
光源：G4 ハロゲンランプ 12V20W × 6



応接室



ライブラリー



ラウンジ



研修スペース



ラウンジ

ラウンジ
ペンダント FLOS GLO-BALL
P2639
光源：E26 普通ランプシリカ 150W × 1
特注天井照明
電球型蛍光灯ランプ
光源：E26 EFA 15EL / 14 / C × 48

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
所在地：東京都品川区大崎2-1-1 Think Park Tower
主要用途：オフィス
内装設計：Gensler
竣 工：2007年9月

会議室
ダウンライト iGuzzini Minimal D9006B
光源：GU5.3 φ50ダイクロイックミラーランプ 12V50W×1
チェア sedus open up



会議室



エントランスホール
ミーティングテーブル
Fritz Hansen A-Table

エントランスホール



会議室

会議室
システムライト Artemide
FLAP SYSTEM F-010S
光源：G13 蛍光ランプ FHF 32W×2
GU5.3 ダイクロイックミラーランプ 12V50W×2
チェア sedus open up
コンファレンステーブル sedus high end (特注)



会議室

会議室
サスペンションライト FLOS U-BEAM L-873S
光源：G5 蛍光ランプ TL5 28W×2
チェア sedus open mind



D 会議室

Sony Corporation
所在地：東京都港区港南 1-7-1
主要用途：オフィス
内装設計：ザ・デザイン・スタジオ
竣工：2006 年 10 月

D 会議室
ダウンライト GEMELLO D5124N
光源：GU5.3 φ 50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W × 1
ダウンライト MINIGLEX D5425N
光源：ミニクリプトンランプホワイト 100W × 1
ダウンライト louis poulsen D3005N
光源：コンパクト蛍光灯 FHT32W × 1
埋込天井照明 ACRY BASE LIGHT-ID J5140W
光源：コンパクト蛍光灯 FHP45W × 2
調光設備 LUTRON GRAFIK-Eye 4000 シリーズ
チェア sedus open up 特注色皮張り

A 会議室
蛍光灯サスペンションシステム Artemide EOS SYSTEM F-016W
光源：G5 蛍光灯 FHF54W × 2
ダウンライト GEMELLO D5124N
光源：GU5.3 φ 50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W × 1
ダウンライト MINIGLEX D5425N
光源：ミニクリプトンランプホワイト 100W × 1
調光設備 LUTRON GRAFIK-Eye 4000 シリーズ



A 会議室



シアター外壁
ラウンジ

Sony Pictures Entertainment (Japan) Inc.
所在地：東京都港区虎ノ門 4 丁目 1 番 28 号
主要用途：オフィス
内装設計：ザ・デザイン・スタジオ
竣工：2007 年 9 月

照明計画：ザ・デザイン・スタジオ
ヤマギワ東京 PDC 塚田 俊平 / 石橋 雅之

シアター外壁
LED 照明 アッパーライト カラーキネティクス
Color Blast 12

ラウンジ
ダウンライト iGuzzini D9033W
光源：GU5.3 φ 50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W × 1

ウェイトینگ
ペンダント LIMBURG P8278V
光源：E17 ミニクリプトンランプホワイト 40W × 1
アジャスタブルダウンライト GEMELLO D5124N
光源：GU5.3 φ 50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W × 1



シアター外壁
ラウンジ



ウェイトینگ

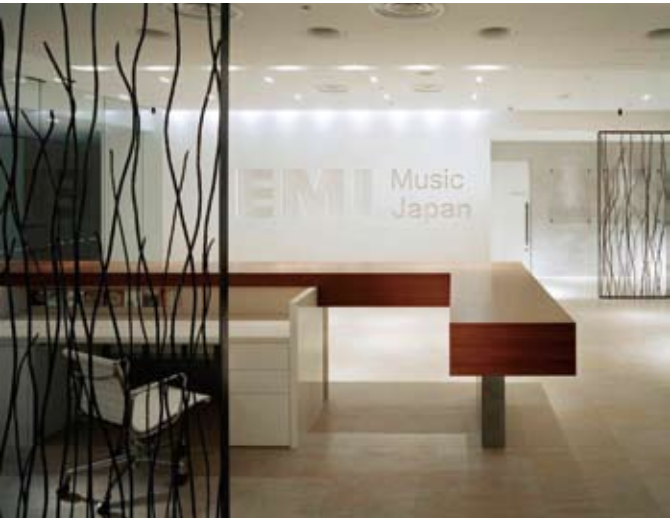


エントランスホール

株式会社EMIミュージック・ジャパン
所在地：東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
主要用途：オフィス
内装設計：Gensler
竣工：2008年2月



ミーティングスペース



エントランスホール

エントランスホール
アジャスタブルダウンライト
UCM DOWNLIGHT D5467N
光源：EY11 メタルハライドランプ UCM20W×1
チェア zanotta LIA
素材：合皮 アルミポリッシュ

ミーティングスペース
アジャスタブルダウンライト
UCM DOWNLIGHT D5467N
光源：EY11 メタルハライドランプ UCM20W×1
ペンダント Artemide LOGICO MICRO
光源：E17 ミニクリプトンランプホワイト 60W×1
チェア Fritz Hansen SEVEN
素材：ウォールナット クローム
テーブル Fritz Hansen A-Table
素材：ブラックメラミン クローム

THOMSON REUTERS

THOMSON REUTERS
所在地：東京都港区赤坂5-3-1
主要用途：オフィス
内装設計：明豊ファシリティワークス株式会社
竣工：2008年3月

会議室通路
特注天井照明 3台
寸法：φ1400mm 1台
φ1200mm 2台
アジャスタブルダウンライト GEMELLO D5124N
光源：GU5.3 φ50ダイクロミックミラーランプ 12V50W×1



受付ロビー



食堂



会議室通路

受付ロビー
スポットライト CUERNO T5234S
光源：EZ10 φ50ダイクロミックミラーランプ 12V50W×1
LED照明 カラーキネティクス Cove NXT
チェア sedus open up

食堂
LUCEPLAN TITANIA P2833S
光源：E26 二重管ハロゲンランプフロスト 120V260W×1
チェア Fritz Hansen SEVEN

会議室
ダウンライト louis poulsen
AH SYSTEM D3006F+Z3018F
光源：G×24q-3 コンパクト蛍光灯ランプ FHT 32W×2
調光システム LUTRON



会議室

インクス茅野零工場

インクス茅野零工場
所在地：長野県茅野市
主要用途：オフィス
デザイナー・アーキテクト：コーン・ペダーセン・フォックス
設計・監理：前田建設工業株式会社 一級建築士事務所
施 工：前田建設工業株式会社 関東支店
竣 工：2006年1月

照明計画：ヤマギワ東京PDC 遠藤 充彦 / 塚田 俊平 / 佐々木 泰和
器具設計：ヤマギワ東京TEC 吉田 征次郎 / 長瀬 淳



東側ウォーターコートから見たオーバル

インクス茅野零工場



オーバル3階ラウンジ

金型設計・製作のオートメーション化により急成長している企業が製作状況をプレゼンテーションできる工場を長野県茅野市に新築。平面L型をした本体施設に、オーバル型3層のプレゼンテーション設備完備の施設が半分埋まった形で配置されています。オーバル形状のガラス張り3層は、柱や奥壁面などを共通の照明手法で照らし上げることで、大きな光柱のような外観を有しています。全階調光機能を完備しており、プレゼンテーションを行う、2階には天井と同形状の大型光天井（調光可）が設置されています。



プレゼンテーションルーム

オーバル1階エントランスホール
壁側ダウンライト GEMELLO D5124N
光源：ダイクロイックミラーランプ12V50W×1
1～3階共通
地中埋設照明 BEGA D4547
光源：メタルハライドランプ20W×1
地中埋設照明 BEGA D4405
光源：ダイクロイックミラーランプ65W×1

1階 レストラン
FLシステムライト FLOS U-BEAM L-871S
光源：蛍光灯TL5 28W×2
特注アップアダンプラケット
光源：ハロピンランプ60W×2

オーバル2階プレゼンテーションルーム
特注天井照明
光源：蛍光灯FHF32W×187

オーバル3階ラウンジ
アジャスタブルダウンライト iGuzzini D9059W
光源：メタルハライドランプ CDM-T35W/70W×1
アジャスタブルダウンライト iGuzzini D9039W
光源：ハロスポットφ111 12V75W×1



オーバル1階エントランスホール



レストラン

アルペン丸の内タワー

アルペン丸の内タワーは、スポーツ用品販売国内最大手である株式会社アルペンの本社社屋として名古屋のオフィス街丸の内に誕生した施設です。透明感の高い外装をまとい開放感ある空間を邪魔することなくシンプルな照明器具により全体を計画しています。外観は、夜間ランドマークとしての存在を強調するようにコーポレートカラーであるブルーの光によってライトアップが行われています。

アルペン丸の内タワー

所在地：愛知県名古屋市中区丸の内2丁目9番40号

主要用途：オフィス

設計：株式会社 日本設計

竣工：2007年6月

照明計画：株式会社 日本設計

ヤマギワ名古屋PDC 飯塚 邦一

器具製作：ヤマギワ名古屋TEC 二井 肇

撮影：SS名古屋



3階商談コーナー



2階フィットネス



エントランスホール

エントランスホール

特注埋込照明

光源：メタルハライドランプ CDM-R70W×2

昇降装置付

特注床埋設器具

光源：LED4W

3階商談コーナー

ダウンライト louis poulsen

AH-SYSTEM D3006F+Z3015F

光源：FHT32W×2

ダウンライト louis poulsen

AH-SYSTEM D3006F+Z3017F

光源：FHT32W×2

ダウンライト louis poulsen

AH-SYSTEM D3006F+Z3023F

光源：FHT32W×2

FLベースライト TL5-FLOLEX J5117N

光源：FHF54W×1

2階フィットネス

アジャスタブルダウンライト iGuzzini D9067W

光源：メタルハライドランプ CDM-R70W×2

外観

特注LED投光器

光源：LED24W

特注LEDボーダーライト

光源：LED



外観

株式会社ティー・ピー・エス

精密金型を主に製作する工場の会議室と食堂のリノベーション。会議室は、遠隔地とのテレビ会議を行なう部屋もあるため、全ての部屋は間接光により明るさを確保。相手の表情が見やすい様、影を作りにくい光環境にしています。食堂は昼は食する場所とした設えをつくり、多目的に空間を使用できる様、明るさを確保しています。

株式会社ティー・ピー・エス
所在地：福島県いわき市
主要用途：オフィス
設計：コクヨエンジニアリング&テクノロジー株式会社
竣 工：2008年

照明計画：ヤマギワ東京PDC 中山 国久
インテリア計画：ヤマギワ東京ISL 中村 幸雄

大会議室
システムライト Artemide EOS
光源：G5 蛍光ランプ FHF 54W×2
ダウンライト iGuzzini Pixel Plus D9108W
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W×1
チェア sedus black dot
テーブル sedus invitation (特注)



大会議室



中会議室



ミーティングブース



ミーティングブース

中会議室
システムライト Artemide SURF
光源：G5 蛍光ランプ FHF 54W×2
テーブル sedus high end

ミーティングブース
システムライト Artemide SURF
光源：G5 蛍光ランプ FHF 54W×2

ミーティングブース
ペンダント FLOS K TRIBE S2 P2809
光源：E26 普通ランプシリカ 100W×1
チェア MOROSO FJORD
テーブル Fritz Hansen PLANO

食堂
ダウンライト louis poulsen
AH SYSTEM D3008F+Z3017F
光源：G×24q-3 コンパクト蛍光ランプFHT 32W×1
ダウンライト iGuzzini Pixel Plus D9108W
光源：GU5.3 φ50 ダイクロイックミラーランプ 12V50W×1
ペンダント
光源：G5 蛍光ランプ FHF 54W×2



食堂

フジテック Big Wing

フジテック Big Wing
所在地：滋賀県彦根市
主要用途：本社・商品開発センター
設計：株式会社昭和設計
照明計画：AZU設計工房
竣工：2006年2月



エントランスホール



エキシビションホール



(写真提供：フジテック株式会社)

外観

エントランスホール
特注アップライト
光源：CDM-TD 150W×1

本社・商品開発棟アトリウム
特注アップダウンライト
光源：FHF 32W×2



本社・商品開発棟アトリウム

エキシビションホール
特注半埋込照明
光源：FHT 57W×1

応接室
特注ボーダーライト
光源：FHF 16W×4
FHF 32W×8



外観



応接室



事務所スペース



1Fホール



2F会議室



2F役員室

チヨープロ本社
所在地：長崎県西彼杵郡長与町
主要用途：オフィス
設計：株式会社 ジン・アーキテツ
竣工：2008年2月

照明計画：ヤマギワ東京PDC 岡野 寛明

写真：安川 千秋

事務所スペース
ペンダント louis poulsen PH F3003W
光源：メタルハライドランプ CDM-T 70W×1
ブラケット BEGA K4595(白塗装)
光源：メタルハライドランプ CDM-TD 70W×1
テーブル sedus invitation

1Fホール
ペンダント LIMBURG P8265 6台
光源：E26 普通ランプシリカ 100W×1
テーブル zanotta LEONARDO

2F会議室
特注埋込照明 タックライン J-001
光源：蛍光灯 FHF32W

2F役員室
ソファ MOROSO LOWLAND
チェア Fritz Hansen SPACE
テーブル Fritz Hansen ATTITUDE



オープンコラボレーション



社長室

株式会社 長寿乃里
所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6
主要用途：オフィス
内装設計：株式会社OnOn
竣工：2007年12月

社長室
デスクライト Artemide TIZIO
チェア Fritz Hansen OXFORD
チェア Fritz Hansen SWAN
デスク sedus
テーブル Fritz Hansen A-Table
コートハンガー Fritz Hansen SERIES9

オープンコラボレーション
チェア MOROSO O-NEST
チェア MOROSO RIPPLE CHAIR
テーブル Fritz Hansen A-Table

応接室
フロアライト FLOS SPUN LIGHT S2964B
光源：E26 普通ランプシリカ 200W×1
ソファ MOROSO LOWSEAT
テーブル MOROSO PHOENIX

エントランス
チェア MOROSO FJORD



応接室



エントランス



セミナーエントランス

デロイトトーマツコンサルティング株式会社
所在地：東京都千代田区丸ノ内3-3-1
主要用途：オフィス
内装設計：明豊ファシリティワークス株式会社
竣 工：2007年9月

エントランス
LED照明
カラーキネティクス iColor Cove QLx22
特注ペンダント

セミナールーム
テーブル sedus no limits



エントランス



セミナールーム



外観

大洋薬品工業新本社
所在地：愛知県名古屋市中村区太閤一丁目24番地11号
主要用途：オフィス
設計：安井・堀内設計共同企業体
竣 工：2008年6月

外観
LED照明 スーパーカラーシリコンライト
光源：カラーLED 12W

応接室
ペンダント ID-SQUARE L-909W
光源：G23 安定器内蔵コンパクト形蛍光灯ランプ
EFP20W形×8(電球色)



外観



外観



応接室

OFFICE LIGHTING & FURNITURE



OFFICE LIGHTING

蛍光灯サスペンションライティングはオフィスに理想的な光を想像します



systemX
有機的（オルガニック）デザインで知られる英国のデザイナー、ロス・ラヴグローヴのデザインによる systemX は発表以来、照明の新しい地平を切り拓いたデザインとして世界的な注目を集めています。単一の「X」モジュールが建築的平面構成に従って水平、垂直面上に無限に展開でき、理知的な空間構成を可能にしています。



FL-SUSPENSION SERIES
FL LINE TYPE-I は、スリムなボディの上下に光源を内蔵した新しいサスペンションライトです。オプションとしてグレアレスルーバー、拡散カバーの設置により、エリアに合わせて配光の選択ができ、一部に LED 光源を採用したタイプもあります。



Artemide ESPRIT SYSTEM
アルテミデ社の新作 ESPRIT SYSTEM は洗練されたインテリア空間にふさわしいエレガントなシステムライトです。フレームには高級感あるアルミ素材を採用し、下面カバーにはブラッククリスタル仕上げの間接光タイプとプリズムデフューザで眩しさをおさえた半間接光タイプがあります。



Artemide SURF SYSTEM
天井面へのアンビエント照明を極めた SURF SYSTEM は厚さわずか 33mm という極限までミニマムなデザインと連結パーツにより空間にレイアウトされたときの美しさが特徴です。TL5 蛍光管の採用によりハイパワーな間接光が得られます。

OFFICE LIGHTING

ベースライトの質によってオフィスの視環境は大きく変わります



SYSTEM DOWNLIGHT
システムダウンライトシリーズは4種類のFLユニットと30種類のダウンライトユニットを組み合わせ、空間の目的にあった光を提供するシステムです。複数の光源を同一モジュールに収めることにより、天井面をすっきりと見せ、器具の存在を感じさせません。



FL BASE LIGHT SERIES
ACRY BASE LIGHT-ID は大きく開いた反射板からの間接光と、中央の拡散アクリルからの透過光とを、理想的なバランスで設計し、輝度を抑えたハイクレイドなベースライトです。高効率で長寿命な FHP ランプを搭載し、従来品 (FPL ランプ) より消費電力は 20% 近く軽減できます。□ 600mm のシステム天井用モデルを標準でラインナップしています。



TORANOMON TOWERS OFFICE
設計:KAJIMA DESIGN

新しい照明手法が新しいオフィスデザインを生み出します



WALL RECESSED SERIES
壁面に埋め込んで天井面を照らすことにより、空間全体に間接光を広げるアンビエントライトです。HID、ハロゲンランプ、そしてコンパクト蛍光灯を使用する3種類が用意されており、高い天井のロビーや通路に新鮮な光の表情をつくりだします。



BUBBLAIR
Design:Ross Lovegrove



BIOLITE LUXO

LUXO CALYPSO

DESK LIGHT SERIES
「タスク&アンビエント」の考え方はオフィス照明の基本です。机上面に明るい光を広げ、しかもパソコンのモニターや書類面に余分な光やてかりを与えないように配光制御されたデスクライトをおすすめします。



LUTRON LIGHT CONTROL
COLOR KINETICS

蛍光灯に替わる光源として期待の高い白色 LED がいよいよ本格的に登場しました。カラーキネティックス社の eW Cove Powercore は AC100V で使用可能のため幅広い使い方ができます。ルートロン調光システムとの併用で、オフィス照明の省エネ化にも貢献します。

OFFICE FURNITURE

ドイツの工業技術と人間工学が生んだオフィスファニチャーの理想形



セダス社は 1871 年にドイツで創設されて以来 130 年以上の伝統を誇るオフィス家具メーカーです。セダス社は世界に先駆けてスプリング回転式チェアを開発し、また初めてキャスター付き 5 本脚のアイデアを世に送りだしました。そして可動式のバックレストを含め、セダスが標準仕様としたこれらの規格は今日でも国際的な場面で公認されています。高品質、耐久性、人間工学に基づいた機能性の高さはもちろん、セダス社の最大の特徴は知的生産活動に対する深い洞察力和オフィス環境哲学にあり、専門学者との共同研究を通じて革新的なオフィス空間を次々に提案しています。



RELATIONS

チームプレイによる効率的な知的業務を生み出すために、収納ユニット、可動ドロワー、アクセサリが一体になってフレキシブルな環境をつくるデスクシステムです。(Chair : Black Dot)



ZENON

厚み 12mm というスリムなデスクトップと端正で幾何学的なフォルムはオフィスに心地よい緊張感をもたらし知的で創造的アイデアを生む空間を提供します。(Chair : Open Mind)



INVITATION

さまざまなオフィス用途に対応する画期的システム。デスク中央部のスリットにモニター、ライト、パーティションなどの諸機能を集中し、会議、プレゼンテーションの際にデスクサーフェスを広く使うなど、仕事の経緯によって自在に移動することができます。(Chair : Open Mind)

「比類なき高品質」と名高い Walter Knoll 社の家具

WALTER KNOLL



ドイツの老舗家具ブランド、ウォルター・ノル社（1865 年創立当時はヴィルヘルム・ノル社）は、ヴェルテンベルク王国御用達ブランドであった 19 世紀以来、質の高い職人芸と革素材、そして先端技術の融合をもって、名作を世におくりだしています。現在では、世界で活躍する建築家やデザイナーとのコラボレーションを通じ、比類なき品質の家具を創出し、顧客から絶大なる信頼を得ています。ウォルター・ノルの家具は洗練されたエグゼクティブ用のオフィス空間から高級住宅にいたるまで愛用されています。創設者の孫であるハンス・ノルは、米国に渡り、Knoll International を設立しています。



CEO

高品質なレザー、ウッド、コリアン等をあしらった高品質&モダンデザインのエグゼクティブ向け最高級デスクシステム。

多くの著名デザイナーとのコラボレーションによる話題作が続出

MOROSO



モローゾ社は 1952 年、アグスティーノ・モローゾがイタリア北東部ウディネに設立したソファ・メーカーです。以来、革新的な技術を取り入れながらも、手づくりの重要性を尊重した上質なソファ、アームチェアなどを製作するイタリアを代表する家具ブランドとして、パトリシア・ウルキオラ、吉岡徳仁、ロン・アラッド、アントニオ・チッテリオ、エンリコ・フランゾリーニ、アルフレッド・ハベリ、ロス・ラヴグローヴ、マーク・ニューソンなどのデザイナーと家具開発を推進しています。



STEEL

クロームメッキを施したスチール製の脚がアクセントになっているスクエアなイメージのソファ。ボリュームのあるクッションは背と座面で異なる密度のポリウレタンを使用することで快適な座り心地が得られます。

